



世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

放送 100 年

最近の新聞記事から

「放送 100 年 次代への展望」(読売新聞 2025 年 1 月 1 日(水) 朝刊 2 部 9 面)

「JOAK、JOAK、こちらは東京放送局であります。」(『放送五十年史』p3 より)

1925 年 3 月 22 日午前 9 時 30 分、仮放送のこの第一声からラジオ放送が始まりました。東京放送局は、大阪放送局、名古屋放送局とともに、日本放送協会(NHK)の前身です。NHKでは、[放送 100 年プロジェクト](#)を展開中です(2025 年 3 月現在)。

今回は、昨年 3 月に開館 100 年を迎えた千葉県立図書館に残るラジオ放送黎明期の様子を伝える資料を中心にご紹介します。デジタル版が存在する場合は、デジタル版へのリンクを付記しています。

【放送黎明期の様子】

サイト名・記事名・書名	URL・出版情報等	
東京放送局沿革史	越野宗太郎編集・発行 1928 中央: KYC/0746	図書 Web 情報
東京放送局は、日本放送協会(NHK)の前身のひとつで、本書は 1924 年 10 月に設立した同局が、1926 年 8 月に解散するまでの社史である。放送黎明期に早くも番組内容の無許可出版などの著作権問題が起きていたなど、現代にも通じる苦労話が各所に見える。 「国立国会図書館デジタルコレクション」(送信サービスで閲覧可能)		
放送五十年史 [本編]	日本放送協会編 日本放送出版協会 1977 中央: 699/N71/1	図書 Web 情報
NHKの 50 年史。第 1 章「ラジオの誕生」では、関係者の証言や新聞記事、巷説を引用し、放送黎明期からの様子を生き活きと伝えている。放送局編集のニュースが始まる昭和 5 年までは、新聞社と通信社が輪番でニュースを放送していたというこぼれ話も収録されている。 「国立国会図書館デジタルコレクション」(送信サービスで閲覧可能)		

【年鑑・統計の登場】

ラヂオ年鑑 1926 年度	岩間政雄編 ラヂオファン社 1925 https://dl.ndl.go.jp/pid/1018799	Web 情報
日本初のラジオ専門の便覧。国内外の概況、放送関連法規、技術解説、東京・大阪のラジオ組合名簿など、放送事業初年に編集にもかかわらず、内容が充実している。事業者のNHKに先んじて年鑑が出版されていたことから、ラジオに対する社会的関心の高さがうかがえる。		

ラジオ年鑑 昭和6年	日本放送協会編 誠文堂 1931 中央：699/N71/31 https://dl.ndl.go.jp/pid/1907532 図書 Web 情報
NHK編集の『ラジオ年鑑』の初号（1954年に『NHK年鑑』に改名）。その年の放送に関するトピックを掲載している。当時の受信機は故障しやすかったようで、受信機の修繕や、受信機自作講習などの支援相談を「特殊サービス」としてNHKが行っており、その沿革や活動内容についても収録がある。	
聴取者統計要覧 昭和5年度	日本放送協会事業部編集・発行 1931 https://dl.ndl.go.jp/pid/1076611 Web 情報
日本放送協会編集のラジオ放送に関する最初の統計書。関東については1924年、関西、東海については1925年からの統計を収録。ラジオ種別の市郡別統計、新規聴取者の職業、聴取廃止に関する統計などをもとにした分析もある。千葉県立中央図書館では、 昭和7年度版 を所蔵。	
ラジオ聴取者は何を好むか？ 昭和六年度嗜好調査報告	日本放送協会関西支部編集・発行 1932 中央：KY699/R12 https://dl.ndl.go.jp/pid/1215226 図書 Web 情報
1931年4月から翌3月に関西支部管轄下の2府8県24万人余りの聴取者を対象に実施し、10万人余りが回答したアンケートの報告書。市部・郡部別の統計とその比較分析や、巻末の「参考篇」ではいわゆるNHKテキストの売り上げとの比較などを行っている。	

【番組の事例】

ラジオ放送局 コレクション・モダン都市文化 32	和田博文監修 ゆまに書房 2008 東部：2136/58/32 図書
1925年12月から約1年の間に放送された番組をもとにした『ラジオ講演 文芸講座 第一巻』（東京放送局編 日本ラジオ協会[ほか] 1925-1926）を収録している。のちに『星の王子さま』を翻訳する内藤濯らの講演が収録されている。 「国立国会図書館デジタルコレクション」 （送信サービスで閲覧可能）には、その他の「ラジオ講演」資料が収録されている。	
悲しき遍路・復讐・霧 ラジオドラマ叢書 第1篇	長田幹彦著 春陽堂 1925 https://dl.ndl.go.jp/pid/1019083/ Web 情報
新しいタイプの娯楽となったラジオドラマの脚本集で、小山内薫や久保田万太郎等が作品を手がけている。叢書は第5篇まであり、第4篇を除いて 「国立国会図書館デジタルコレクション」 （ログインなしで閲覧可能）で公開されている。	
ラジオを語る会	大阪中央放送局編 大阪中央放送局 1935 https://dl.ndl.go.jp/pid/1095447 Web 情報
放送開始10周年と聴取者200万人突破を記念して東京と大阪で二元中継された番組の速記。菊池寛や山田耕筰など各界の著名人や、リスナーと思われる婦人や青年らがそれぞれの立場でラジオを語った。	